

2019年(平成31年)2月4日(月曜日) 7

【北海道】北海道トラック協会(奈良幹男会長)は1月23日、全ト協が開催する健康診断結果の活用や睡

セミナーは今回の北海道を皮切りに、来月まで全国で開催する。全ト協の入谷誠審議役は「近年、トラック事業者が第1当事者となる交通事故は減っているが、健康起因事故は増加傾向にある。事故防止にドライバーの健康管理は必要で、今回のセミナーを通じて、システムの活用を検討していただきたい」とあります。



対策に関するセミナーに参加した。健診データを分かりやすく表示する「運輸ヘルスケアナビシステム」を紹介。システムを通じて従業員の健康状態を把握し、健康起因事故を防ぐ重要性を示した。セミナーは今回の北海道

セミナーは今回の北海道を皮切りに、来月まで全国で開催する。全ト協の入谷誠審議役は「近年、トラック事業者が第1当事者となる交通事故は減っているが、健康起因事故は増加傾向にある。事故防止にドライバーの健康管理は必要で、今回のセミナーを通じて、システムの活用を検討していただきたい」とあります。

ヘルスケアネットワーク(OCHIS)、武田裕理事長)の作本貢子副理事長らがシステムを説明。医療機関による基準値が異なったり、紙ベースで管理が難しかったりする健診結果を一覧で見られるため、病気のリスクを抱える従業員に早期の対策を講じることができる。作本氏は「ドライバーのモチベーションアップにつながるとともに、健康経営で社外へのアピールを期待できる」と効果を語った。

また、トラック事業者によるSAS対策として、従業員への周知やスクリーニング検査実施の必要性を説明した。(土屋太朗)

「健診結果管理方法」聞く

— 北ト協 —

全ト協がシステム紹介